

競 技 上 の 注 意

審判長 田中 孝一

本大会は現行の日本卓球ルールを適用して実施する。
但し、日本リーグの取り決めによる特別ルールを併用して行う。

※競技用服装及び試合前の練習時間（1分間）については日本リーグの取り決めによる。
※リーグ戦における順位の設定は、本連盟大会運営規定による。
〔注：全対戦間の成績比率（得点÷失点）による。〕

1. 卓球台、ボール、ラバー、ラケット、競技用服装について

- 卓球台は、Nittaku 製ブルーコートを使用する。
- 使用球は、Nittaku プラ3スタープレミアム 40+（ホワイト）を使用する。
- 競技者（組）は事前にボール選球所で試合球2個を選んでコート内の主審に渡す。
- ただし、男女シングルス準決勝および決勝についてはマルチボールシステムを導入する。該当試合の競技者は、試合球を10個選球すること。
- 対戦ごとにトスで試合球を決定する。
- 選択した試合球が破損等でスペアもなくなってしまった場合、または双方の競技者（組）があらかじめボールを選んでこなかった場合、主審の所持球の中から無作為に1個を選択して使用する。
- ラバーはITTFまたはJTAAが公認したものでなければ使用できない。
- 外国製ラケットでJTAAの公認マークのないものを使用する場合は、試合開始60分前までに「ラケット使用許可願い」を提出して審判長の許可を得るものとする。
- ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットか、プレー領域内で手渡されたもので、すぐにプレーをしなければならない。
- 競技用服装は、同系色による対戦を避けるため試合前に対戦者同士で確認すること。
- 競技用服装以外に、サポーター、リストバンド、ヘアバンド、スパッツなどを着用することができる。これらの着用物にメーカーロゴ等の表示がある場合には、ロゴがJTAA公認用具指定業者のものであり、全面積が12cm²以下のものが1カ所であればその使用が認められる。
- アンダーシャツは、競技用服装から大きくはみ出さないようにすることで着用が認められる。若干のはみ出しは、メーカーの商標、ロゴが外部から見えないようにすること。

2. タイムアウトについて

- 競技者（組）または指名されたアドバイザーは、1マッチを通じて1分以内の「タイムアウト」を1回要求することができる。
- タイムアウトの要求は、ゲーム中のラリーとラリーの間のみに行うことができる。その場合、競技者（組）は両手で「T」を示し、ベンチ（アドバイザー）からは「T」カードを用いて要求を示し、主審にその意思を明確に伝えること。
- 競技者（組）とアドバイザーの意思が異なった場合は、競技者（組）の要求が優先される。

3. バッドマナーについて

- 競技者またはアドバイザーは、観客に不快感を与えたり、相手競技者に対し不当な影響を与えたり、ゲームの評判を落とすようなクセや態度、審判長や審判員の指示を無視する行為を行った場合、バッドマナーとして判断され、相手へのポイント、競技者の退場、失格等のペナルティーが科される。
- ポイントが決定した後、すぐにサービスを出さない、なかなかレシーブの構えに入らない等の「スロープレー」も、競技のスピードアップを無視する行為としてバッドマナーの対象になる。
- 主審が競技者の行為に対してバッドマナーとして判定した場合、最初はイエローカードによる警告、2回目はイエローカード、レッドカードを掲げて相手に1ポイントを与え、さらに違反行為が続く場合には、相手に2ポイントが与えられる。さらなる不正行為には審判長が判定を下す。

4. アドバイス、抗議について

- 試合開始前に主審に届けてベンチに入っているアドバイザー1名のみが競技者にアドバイスできる。
- アドバイザーは、原則として競技者と一緒にベンチに入ることが望ましい。
- 競技者は、それによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。
- アドバイス違反をしたものは、退場を含むペナルティーが科せられる。
- 抗議は、競技者のみが行うことができる。
- 主審または副審の事実判定（入った、入らない、触れた、触れてない等）に対しては抗議できない。

5. 競技進行について

- 競技者（組）は所定のコートベンチ脇に準備された「次の試合」の椅子で待機し、前の競技が終了したら試合準備をして、直ちにコート内に入るものとする。
- ベンチについては、組合せ番号の若いほうが本部席側となる。
- 進行の都合で、コートあるいは試合時間を変更することがある。とくに、試合時間が予定時間より早くなっている場合、予定時間より 10 分前に開始することがあるので、放送、掲示には十分注意すること。
- 第1ステージ（予選リーグ）シングルス：2位・3位、ダブルス：2位、の第2ステージ（決勝トーナメント）組合せは、大会委員長、競技委員長、競技委員による抽選となる。

6. 一般注意事項

- カメラ、ビデオ撮影は、競技者が自身のプレーを撮影するために持込む1台のみ許可される。
- アリーナコート競技エリア内での濡れ雑巾の使用は一切禁止とする。
- 体育館内は全面禁煙のため、喫煙は所定された場所を利用すること。
- 貴重品、荷物は各自で管理すること。競技者は、観客席に荷物を置かないようにすること。
- 競技中に起こったケガ、事故については応急処置を施す。傷害保険を掛けているのでその後の処置については保険会社と処理する。